

ごみ搬入量の推移はどうなっているの？

単位:トン

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
青梅市	31,335.18	30,654.35	30,078.79
福生市	12,542.74	12,402.52	12,364.15
羽村市	12,098.26	12,155.19	12,202.21
瑞穂町	8,296.15	8,311.07	8,694.79
構成市町計	64,272.33	63,523.13	63,339.94
構成市町外	0.00	1,427.32	1,512.36
合計	64,272.33	64,950.45	64,852.30

公害防止協定に基づき、ごみ焼却に伴う排出ガスの測定結果などを公開します！

平成 25 年度の構成市町から搬入された燃やせるごみの量は、63,339.94 トンで、前年度と比べ 183.19 トン、0.3%の微減となっています。

全体量としては、前年度と比べ 98.15 トン、0.2%の微減となっています。平成 25 年度は、小金井市からの広域支援依頼に伴い、平成 25 年 12 月から平成 26 年 3 月までの 4 か月間で 1,512.36 トンを受入れました。

また、平成 24 年度では、広域支援として宮城県女川町の災害廃棄物 1,427.32 トンを受入れました。

ごみ焼却処理に伴う排出ガスの測定結果の状況は？

■ 排出ガス測定結果 下の表は、平成 25 年度の排ガス測定の結果です。すべての項目において、法規制値ならびに公害防止協定値を下回っています。

項目	硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん	塩化水素	水銀	ダイオキシン類	
単位	ppm	ppm	g/m ³ (N)	ppm	mg/m ³ (N)	ng-TEQ/m ³ (N)	
法規制値	(約440)	250	0.08	430	—	1	
公害防止協定規制値	30	50	0.02	25	—	0.5	
公害防止協定目標値	10	40	0.01	10	0.05	0.1	
1号炉	H25. 7. 17	<1	21	<0.001	6	0.005	0.011
	H25. 8. 6	<1	24	<0.001	6	—	—
	H25. 11. 7	<1	11	<0.001	7	<0.005	0.0055
	H26. 3. 4	<1	16	<0.001	3	—	—
2号炉	H25. 5. 24	<1	19	0.001	8	0.008	0.014
	H25. 6. 19	<1	10	0.001	6	—	—
	H25. 6. 28	—	—	—	—	—	0.0083
	H25. 10. 16	<1	22	<0.001	3	0.007	0.0027
3号炉	H26. 2. 21	<1	16	<0.001	5	—	—
	H25. 5. 8	<1	26	0.003	7	0.013	0.0087
	H25. 8. 23	<1	10	0.002	4	—	—
	H25. 9. 11	<1	34	<0.001	7	—	—
H25. 12. 3	<1	17	<0.001	3	<0.005	0.0036	

■ 大気環境中のダイオキシン類測定結果 単位:pg-TEQ/m³

採取場所	採取日	H23. 12. 19~ H23. 12. 20	H24. 12. 18~ H24. 12. 19	H25. 12. 17~ H25. 12. 18
環境基準値		0.6		
羽村市立羽村第三中学校		0.022	0.011	0.051
羽村市立松林小学校		0.019	0.0081	0.030
羽村市立あさひ公園		0.017	0.011	0.029
瑞穂町立瑞穂第四小学校		0.020	0.014	0.067
瑞穂町富士見公園		0.025 ※	0.0079	0.053

※ 瑞穂町富士見公園の測定日は、H23.12.20~H23.12.21までの結果です。

左の表は、西多摩衛生組合周辺の大気環境中のダイオキシン類測定結果(12月測定分)です。測定は、24時間の試料採取による測定結果で、各地点とも環境基準値を下回っています。

西多摩衛生組合は、広域支援の受託にかかわらず、今後とも公害防止対策の充実を図り、法規制値および地元協議会と交わしている公害防止協定を遵守していきます。

西多摩衛生組合

2014年7月発行
No.17

にしたまエコにゆうす

広域支援

小金井市の可燃ごみの受入れ

平成26年6月4日に小金井市から西多摩衛生組合に対し、『多摩地域ごみ処理広域支援体制』に基づく可燃ごみ処理の支援依頼がありました。当組合では、構成市町(青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)および周辺地域の住民で組織する羽村九町内会自治会生活環境保全協議会ならびに瑞穂町環境問題連絡協議会からの意見を集約し、ごみ搬入の措置対応を検討した結果、相互扶助の観点から、支援依頼を受託することとしましたのでお知らせします。

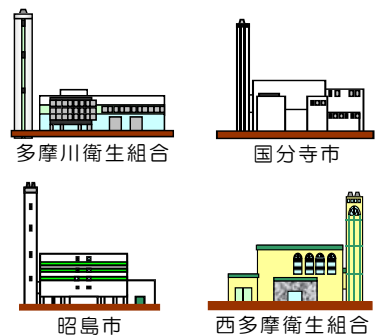
小金井市では、日野市・国分寺市との3市による可燃ごみの共同処理を推進するため、平成25年12月に『小金井市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』を見直し、新焼却処理施設の整備事業を盛り込みました。現在、3市では平成31年度からの新施設稼働を予定し、計画を進めています。

【受入条件】

- 受入期間 平成26年8月1日(金)から平成27年3月31日(火)
- 受入量 3,000トン以内
- 対象ごみ 可燃ごみ
- 受入曜日 火・水・金・土曜日(計80日間) ※10~12月は土曜日のみ搬入

■ 平成26年度 小金井市の広域支援予定量 (単位:トン)

支援先	所属ブロック	処理委託期間	支援予定量
多摩川衛生組合(稲城市・狛江市・府中市・国立市)	第2ブロック	平成26年4月1日~平成27年3月31日	6,000
国分寺市	第2ブロック	平成26年4月1日~平成27年3月31日	3,600
昭島市	第1ブロック	平成26年7月1日~平成27年3月31日	2,000
西多摩衛生組合(青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)	第3ブロック	平成26年8月1日~平成27年3月31日	3,000
合計			14,600



西多摩衛生組合の搬入措置対応

【小金井市の広域支援に対する基本的な考え方】

- ① 西多摩衛生組合構成市町(青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)の可燃ごみ処理を最優先とし、日常のごみ処理に支障を来すことのない範囲で広域支援を実施する。
- ② 西多摩衛生組合の公害防止協定を遵守する。
- ③ 施設の維持管理上において影響が生じない範囲で広域支援を実施する。
- ④ 多摩地域全体で支援していくための基本的な考えに基づき支援をしていく。
- ⑤ 他の施設が、ごみ受入れのできない時期(定期補修期間や土曜のごみ受入不可等)に補助的な役割(サブ)を担って支援していくことを基本とする。
- ⑥ 広域支援の契約は、単年度ごとに行う。
- ⑦ 広域支援を継続する場合は、できるだけ早い時期に羽村・瑞穂両協議会へ連絡する。
- ⑧ 小金井市に対し、日野市、国分寺市および小金井市の可燃ごみ共同処理に向けたスケジュールを情報公開するよう依頼し、スケジュールを把握した場合は、速やかに羽村・瑞穂両協議会へ連絡する。

■ 平成26年度 当初計画と広域支援受託後の比較

	当初計画	支援受託後	増減
ごみ搬入量(トン)	62,600	65,600	+3,000
構成市町(トン)	62,600	62,600	±0
広域支援(トン)	0	3,000	+3,000
総日数	243	243	±0
1炉稼働日数(日)	179	159	-20
2炉稼働日数(日)	42	62	+20
全炉停止日数(日)	22	22	±0
運転炉数(炉)	263	283	+20

措置対応の内容について

- (1) ごみ搬入量は、支援受託に伴い **3,000トン増加** します。
- (2) 小金井市のごみ搬入日数は期間中 **延べ80日間** です。
- (3) 搬入車両については、**2または3トン車**が使用され、**支援期間中に延べ1,703台**の搬入を予定しています。
- (4) 搬入時間は、**8:30から概ね16:00まで**とします。
- (5) 搬入経路は、**新青梅街道または国道16号(瑞穂町経由)** ← **西多摩衛生組合**を予定しています。
- (6) 支援分の可燃ごみ(3,000トン)の処理については、**支援期間中20日間、2炉稼働日を増加**させることにより、適正な維持管理が図れるものと判断しています。

編集・発行 西多摩衛生組合 2014年7月発行【No.17】

(構成団体 青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)

アクセス図



■ 西多摩衛生組合環境センター

住所: 〒205-0012 東京都羽村市羽4 2 3 5
TEL: 042-554-2409 FAX: 042-554-2426

■ フレッシュランド西多摩

住所: 〒205-0012 東京都羽村市羽4 2 2 5
TEL: 042-570-2626 FAX: 042-570-2288

西多摩衛生組合
ホームページ

<http://www.nishiei.or.jp>

第3章第3節 新たな可燃ごみ共同処理体制への移行と適正な埋立処分【抜粋・要約】

目標	老朽化した二枚橋焼却場での処理を中止した後、新たな地方公共団体との可燃ごみ共同処理体制への移行を目指します。
取り組み項目	将来の可燃ごみ焼却処理施設の整備…日野市及び国分寺市との3市による、可燃ごみの共同処理を推進し、新焼却処理施設の平成31年度中の稼働を目指し整備事業を実施します。

1 多摩地域におけるごみ処理広域支援の根拠

① 多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱第16条（協力の必要な事態）【抜粋】

第16条 協力の必要な事態とは、次のとおりとする。ただし、原則として年末年始・休日を除く。
 (1) 緊急事態・不慮の事故等による突発的な施設停止、または処理能力が著しく低下した場合をいう。
 (2) **事前予測可能な事態・施設の定期点検整備または改修工事、更新、新設であらかじめ計画された事態をいう。**
 (3) **前号に規定する、新設であらかじめ計画された事態とは、一般廃棄物処理基本計画等に基づき、ごみ処理施設の建設計画が市町村等において、決定されている場合をいう。**

② 多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱第19条（支援の要請）【抜粋】

第19条 市町村等において協力の必要な事態が生じた場合、速やかにブロック代表に多摩地域ごみ処理広域支援要請書を提出するものとする。
 2 ブロック代表は、前項の要請に基づき、同一ブロック内の市町村等と円滑で合理的な支援を考慮し、調整を行うものとする。
 3 ブロック代表は、前項において受託可能な市町村等がない場合又は受託量が支援要請量に満たない場合は、ブロック協議会会長に、その旨を報告確認し、他ブロックであっても、受託可能な市町村等と調整をすることができる。
 4 ブロック代表は、前項においても、調整ができない場合は、ブロック協議会会長に調整を依頼するものとする。

③ 多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定書第4条（協力の方法）【抜粋】

第4条 **市町村等は支援の依頼があった場合に、特別の事情がない限り、積極的にその要請に応えなければならない。**
 2 市町村等は支援を依頼する場合、多摩地域ごみ処理広域支援要請書によりブロック代表に依頼することができる。
 3 前項の、同一ブロック市町村等において、受託可能な市町村等がない場合は、ブロック協議会会長を通して他のブロックに支援の依頼を行うことができる。

2 小金井市の広域支援依頼への対応経過

① 多摩地域ごみ処理広域支援第2ブロック会議（平成26年1月21日）開催

◆会議結果◆
 1 小金井市より依頼を受けた多摩地域ごみ処理広域支援継続要請については、日野市、国分寺市および小金井市（以下「3市」という。）による可燃ごみ共同処理事業が進捗していること、および小金井市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に**3市による共同処理施設建設計画を位置付けたことから、要綱第16条による支援として取り扱うこととする。**
 2 小金井市からの要綱第16条による支援要請に対しては、本来であれば、要綱第19条による方法で支援先を調整することとなっているが、**小金井市はこれまで非常事態とも言える状況が続いてきたことから、支援先の調整については、今回は例外的措置として、小金井市が過去の経過を踏まえ調整することとした。**
 3 3市の共同処理における新焼却施設の稼働は平成31年度中を目指していることから、今回の支援要請期間は平成26年度からの6年間となっている。今回の会議により、第2ブロック各団体は、要綱第16条に該当する限り支援可能な状態にあることを確認したが、前号のように整理することから、今後状況に応じて、第2ブロック各団体に随時小金井市からの支援要請があることを確認し、その際は、**小金井市と要請を受けた団体とで調整することとする。**

② 多摩地域ごみ処理広域支援ブロック協議会（平成26年4月7日）開催

◆会議結果◆
 1 小金井市より第2ブロック会議（平成26年1月21日開催）結果を報告した。
 2 **ブロック協議会では、第2ブロック会議の報告を受け、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定書に沿って支援を行っていくことが了承された。**

③ 東京都市町村清掃協議会（平成26年4月10日）開催

◆会議結果◆
 1 小金井市より第2ブロック会議（平成26年1月21日開催）結果を報告した。
 2 多摩地域ごみ処理広域支援ブロック協議会（平成26年4月7日開催）と同様に了承された。

④ 多摩地域全体で支援していくための基本的な考え

- 多摩地域の清掃工場は、今後、小金井市から広域支援を依頼された場合、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定第4条に基づき、積極的に依頼に応える必要がある。
- 長期（6年間）の広域支援になることから、合理的で安定した支援を確保するため、多摩地域全体で支援を行うこととする。

『多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱』では、ごみ処理の相互支援協力の必要な事態が発生した場合、広域的な支援処理が円滑に実施できる体制を確保するため、多摩地域を3つのブロックに分けており、ブロック会間の支援調整を行う組織としてブロック会の代表達で構成するブロック協議会を設置しています。

○ 多摩地域の各ブロック会の構成

第1ブロック	八王子市、立川市、昭島市、小平市、武蔵村山市、日野市、東大和市、多摩市、町田市、小平・村山・大和衛生組合、多摩ニュータウン環境組合
第2ブロック	稲城市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、狛江市、調布市、西東京市、東久留米市、東村山市、府中市、三鷹市、武蔵野市、柳井園組合、多摩川衛生組合、ふじみ衛生組合
第3ブロック	青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町、あきる野市、日の出町、奥多摩町、檜原村、西秋川衛生組合、西多摩衛生組合

3 西多摩衛生組合の対応経過

① 平成26年5月27日 5月20日に小金井市担当課長から情報を受けたことから、西多摩衛生組合幹事会（構成市町担当部長会議）に、小金井市の広域支援の状況等について情報提供を行う。	② 平成26年5月28日 羽村・瑞穂両協議会の三役会へ、小金井市の広域支援の状況等について情報提供を行う。	③ 平成26年6月4日 小金井市より広域支援依頼があったことから、これを受理し、組合議員・構成市町長へ通知する。また、公害防止協定に基づき、羽村・瑞穂両協議会へ連絡し、搬入措置対応についての協議を依頼する。	④ 平成26年6月5日 羽村・瑞穂両協議会（羽村は協議会総務会、瑞穂は協議会代表理事会）へ広域支援依頼の内容および措置対応（案）について説明する。
⑤ 平成26年6月13日 広域支援依頼に対する構成市町の意見を集約した結果、多摩地域ごみ処理広域支援体制の相互扶助の観点から、可能な限り依頼に応えるべきとの見解に至る。	⑥ 平成26年6月26日 羽村・瑞穂両協議会（羽村は協議会役員と区域内住民、瑞穂は協議会役員）へ広域支援依頼の内容および措置対応（案）について説明する。当日の質疑応答要約は、下記資料1のとおり。	⑦ 平成26年7月3日 6月4日の協議依頼に対し、羽村・瑞穂両協議会から資料2のとおり回答書が提出される。広域支援の必要性について理解が得られるとともに、搬入措置対応に関する条件が示される。	⑧ 平成26年7月4日 西多摩衛生組合幹事会において、小金井市の広域支援にかかわる経過および措置対応等について説明を行うとともに、今後の対応について協議する。
⑨ 平成26年7月14日 西多摩衛生組合正副管理者会議において、構成市町および羽村・瑞穂両協議会の意見集約の内容や技術的対応を総合的に協議した結果、支援受託することを機関決定する。	⑩ 平成26年7月22日 西多摩衛生組合協議会議員全員協議会において、小金井市の広域支援にかかわる経過および措置対応等について報告する。	⑪ 平成26年7月下旬 西多摩衛生組合広報紙『にしたまエゴにゆうすNo.17』（本紙）を羽村・瑞穂両協議会区域内へ全戸配布し、広域支援の経過等についてお知らせする。	⑫ 平成26年8月1日（予定） 小金井市と可燃ごみ焼却処理委託契約を7月末に締結した後、8月1日から、小金井市の可燃ごみの受入れを開始する予定。

資料1 ■ 公害防止協定に基づく広域支援の依頼内容および措置対応（案）質疑応答要約

【平成26年6月26日 午後7時開催】

- (質問)・小金井市の可燃ごみの処理単価は？
 (回答)・26年度の処理単価は現在未決定です。25年度実績では1kg当たり48円でした。
- (質問)・共同処理計画では6年後の施設稼働を目指しているが、6年以上かかった場合の対応は？
 (回答)・原則、広域支援体制実施要綱第16条に該当している限り支援対象となります。ただし、計画の進捗状況を適宜確認し、単年度ごとに判断していきます。
- (質問)・小金井市の広域支援は二枚橋衛生組合の解散以来、長期的な問題となっているため、共同処理計画等の情報を速やかに提供してほしい。
 (回答)・できるだけ速やかな情報提供に努めていきます。
- (質問)・西多摩衛生組合環境センターで全炉停止した場合、ごみピットに何日分のごみを溜められますか？
 (回答)・直近の25年度実績では、工事期間中21日間全炉停止しましたが、受入業務に支障はありませんでした。また、26年度では設備更新工事のため、22日間の全炉停止を予定しておりますが、業務に影響のない範囲での計画となっています。
- (質問)・西多摩衛生組合への支援依頼量は3,000トンだが、他の施設の状況は？
 (回答)・多摩川衛生組合6,000トン、国分寺市3,600トン、調整中（昭島市）が2,000トンです。
- (質問)・仮に1kg当たり48円で3,000トンの広域支援をした場合、約1億円となるが、この1億円の用途は？
 (回答)・広域支援による受託金を特定財源として、バグフィルター等の更新工事費に充当します。結果として構成市町が負担する分賦金が減少することになります。
- (質問)・日野市、国分寺、小金井市による共同処理事業は、一部事務組合で進めているのですか？
 (回答)・まだ一部事務組合は設立されていないので、日野市に準備室を設けて3市で事業を進めています。今後、27年4月に3市による組合が設置され、一元的に事業が進められる予定です。
- (質問)・多摩地域全体で支援をしていない印象を受けます。多摩地域全体での支援をお願いします。
 (回答)・清掃施設の状況はそれぞれ異なりますが、6年間の間には対応が進み、多摩地域全体で支援協力されていく予定です。

資料2 ■ 小金井市の可燃ごみ処理支援の受入措置対応について

【平成26年7月3日】

西多摩衛生組合 管理者 並木 心 様

羽村九町内会自治会生活環境保全協議会 会長 芳谷 松男
 瑞穂町環境問題連絡協議会 会長 龍王 嘉盛

平成26年6月4日付け、西衛発第218号にて協議依頼のあった標記の件について、次のとおり回答いたします。
 羽村・瑞穂両協議会としては、小金井市の可燃ごみの広域支援は、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定及び同要綱による相互扶助の観点から広域支援の必要性については理解します。しかし、平成19年・20年度に受託した小金井市の広域支援において契約条件が反故され、中断した経過があり、小金井市のごみ処理行政について、両協議会としても、不信感が残っています。

- よって、小金井市の可燃ごみの広域支援には、下記の条件を付けることとしたい。
- ① 支援受託は単年度単位とし、日野市・国分寺市・小金井市の共同処理事業の具体的計画を提示し、それが計画通り進行している事を確認しつつ、支援を継続すること。
 - ② 広域支援受託に伴い、ごみ焼却量が増えることから、燃焼管理に十分に配慮し、さらなる、周辺環境への負荷を低減するための努力をすること。
 - ③ 広域支援受託に伴い、周辺環境整備等についてもより一層の努力をすること。
 - ④ 周辺住民への説明会などを実施し、周辺住民の理解を促す対応を積極的に実施すること。

用語解説

ブロック会
 ブロック協議会
 とは??